

令和3年度愛知県内のエピペン使用事例（令和4年度市町村教育委員会学校給食主管課長会議資料より抜粋）

単位：件

①学校別		②発症時		③原因		④エピペン使用者	
小学校	11	登下校	6	運動誘発	5	本人	5
中学校	11	給食・昼放課	15	誤食	6	保護者	4
高等学校	5	授業中	6	原因不明	15	教職員	11
特別支援学校	0	その他	0	その他	1	医師等	7

学 年	原 因	発症時	状 況
中 2	小麦 大麦 乳製品 卵	給食後	<p>○給食の『カレー』を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーにより給食は一部弁当対応をしている。家庭と学校の確認不足が重なり、給食の『カレー』を食べてしまった。（家庭からの代替食がなく、給食前の献立確認をしなかった）給食後にのどの痛みを訴え、薬を服用し様子を見た。養護教諭が肌の赤み、腹痛の症状を確認し保護者に連絡。本人がエピペンを打つ。担任が救急車を要請し、病院へ搬送した。
小 3	原因不明	体育の授業中	<p>○アレルギー既往なし、運動誘発により発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中の体育の授業中、咳と腹痛を訴える。トイレに行くが回復せず、蕁麻疹が出てきた。本人が、朝食で『クルミ入りのパン』を食べた際、舌のヒリつきと腹痛があったと話す。改善が見られないため、救急車を要請する。病院でアドレナリン注射を打つ。 ・後の検査でクルミのアレルギーが判明する。
高 1	そば メロン 卵	行 事 (遠足) 昼食後	<p>○外食で『ガレット』（アレルギーそば）を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そば等アレルギーがあるが、学校での配慮不要の生徒。遠足で出かけた際の昼食で、そばが入っているとは知らずに『ガレット』を注文し食べた。45分後に息苦しさ、咳、発疹が現れる。班長からの連絡で教諭が駆け付け救急要請する。 ・ドクターヘリで病院搬送される中で、医師がエピペンを打つ。

小1	小麦 乳製品 魚卵 そば	給食後	<p>○給食の『野菜のポタージュ』を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーにより給食は一部除去対応をしている。家庭と学校の確認不足が重なり、『野菜のポタージュ』を食べてしまった。(家庭と学校のチェック漏れ) ・給食後に教室で本人の手が赤くなっていることに担任が気づき保健室へ連れていき、持参している薬を服用する。 ・保護者との相談により、保護者が来校し、確認してから保護者がエピペンを打った。救急要請し病院へ搬送した。
小3	乳 小麦 鶏肉 山芋	給食後	<p>○給食の『ロールパン』(アレルギー乳)を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーの症状の改善が見られたため、2ヶ月前から主治医より小麦摂取の許可が出ており、保護者との面談により、当月から給食での小麦摂取を段階的に進めていた。 ・家庭と学校の確認不足が重なり、乳の含まれた『ロールパン』半分を食べる。(保護者のチェック漏れ給食前の献立確認をしなかった) ・掃除中に咳、声のかすれ、呼吸のしにくさを訴えたため、持参している薬を内服。駆け付けた保護者によりエピペンをうち、救急搬送により病院へ運んだ。
小1	鶏卵・乳 そば・ごま油・アーモンド・カシューナッツ・クルミ	給食中	<p>○給食の『米粉パン』を誤食して発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーにより給食は一部弁当対応をしている。家庭と学校の確認不足が重なり、給食の『米粉パン』を食べてしまった。(家庭からの代替食がなく、献立表の保護者チェックがなかった。給食前の献立確認をしていなかった) ・給食中にのどの痛みを担任に訴え、更に腹痛も出てきた。養護教諭を呼び、バイタルを確認しながら車椅子で保健室へ連れていく。症状の悪化はなかったが、誤食を確認し、保護者へ連絡をして養護教諭がエピペンを打つ。救急車を要請し病院へ運んだ。
高2	生卵 乳	体育の授業中	<p>○運動誘発で発症したケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生卵、乳のアレルギーの生徒が弁当持参(卵焼きあり)を食べた。5限の体育の30分走後に体のかゆみ、呼吸のしづらさがあり、保健室に来室。担任が救急車を要請し、エピペンの使用について救急隊員に相談。過呼吸のような症状が出て、指示により教職員がエピペンを打ち、病院へ搬送する。

小4	鶏卵・乳・ ごま・ごま 油・アーモ ンド・カシ ューナッ ツ・クル ミ・梅・り んご	給食中	<p>○<u>家庭による代替食『おにぎり』(アレルギーチーズ)を誤食して発症したケース</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーにより、給食は一部弁当対応をしている。パンの代わりに持参した『おにぎり』にチーズが入っており2口食べた。保護者が姉のおにぎり間違えてもたせていた。 ・給食中にのどの違和感を訴え、養護教諭が教室へ向かい様子を確認する。症状は落ち着いていたが、持参しているはずのエピペンがランドセルに入ってなく保護者へ連絡。保護者が来校し、誤食を確認し保護者がエピペンを打つ。主治医の指示で保護者の車で病院へ向かった。病院へ搬送後に息苦しさや蕁麻疹の症状も出る。
中2	魚卵 イクラ タラコ 山芋	給食後	<p>○<u>原因不明で持参した弁当を食べた後に発症したケース</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・半月程前に家庭でアナフィラキシー症状が出て、入院しエピペンが処方されていた。家庭から持参した弁当を食べ、食後は自席で静かに過ごしていたが、不調を感じたため学年主任に申し出て薬を服用する。学校から連絡を受けた保護者が到着する。過呼吸症状が強くなり、教頭が救急要請する。保護者は心因性の可能性からエピペンを打つことをためらっていたが、到着した救急隊員がエピペンを打ち、病院へ搬送される。